

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】平成24年9月27日(2012.9.27)

【公開番号】特開2011-39252(P2011-39252A)

【公開日】平成23年2月24日(2011.2.24)

【年通号数】公開・登録公報2011-008

【出願番号】特願2009-186078(P2009-186078)

【国際特許分類】

G 02 F 1/13357 (2006.01)

G 02 B 5/02 (2006.01)

F 21 S 2/00 (2006.01)

F 21 Y 101/02 (2006.01)

【F I】

G 02 F 1/13357

G 02 B 5/02 B

F 21 S 2/00 4 3 1

F 21 Y 101:02

【手続補正書】

【提出日】平成24年8月10日(2012.8.10)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

液晶表示パネルと該液晶表示パネルを照明するバックライトとを有する液晶表示装置において、

該バックライトは、導光板と、該導光板の側部に配置された複数の発光ダイオードと、該導光板と液晶表示パネルとの間に配置される拡散性又は集光性の機能を有する光学シート部材とを有し、

該光学シート部材の該発光ダイオードに近接する辺の各発光ダイオードの正面部には、前記発光ダイオードから光が広がる向きに円弧が広がる橢円形状の切り欠き部を備えたことを特徴とする液晶表示装置。

【請求項2】

請求項1に記載の液晶表示装置において、該光学シート部材は積層した複数枚のシートから構成され、該シートは、該発光ダイオードに近接する辺に切り欠き部を有するシートと該辺に切り欠き部を有しない他のシートからなることを特徴とする液晶表示装置。

【請求項3】

請求項1に記載の液晶表示装置において、該光学シート部材は積層した複数枚のシートから構成され、いずれのシートにも、該発光ダイオードに近接する辺に切り欠き部をしていることを特徴とする液晶表示装置。

【請求項4】

請求項3に記載の液晶表示装置において、各シートに形成された切り欠き部は、シート毎にサイズ又は位置が異なることを特徴とする液晶表示装置。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 1】

(1) 液晶表示パネルと該液晶表示パネルを照明するバックライトとを有する液晶表示装置において、該バックライトは、導光板と、該導光板の側部に配置された複数の発光ダイオードと、該導光板と液晶表示パネルとの間に配置される拡散性又は集光性の機能を有する光学シート部材とを有し、該光学シート部材の該発光ダイオードに近接する辺の各発光ダイオードの正面部には、前記発光ダイオードから光が広がる向きに円弧が広がる橜円形状の切り欠き部を備えたことを特徴とする。